

2026.4.4

ふじた看図アプローチ研究会「ふじかん」第31回研究会報告

日時：2026年4月4日（土）13:30～18:30

場所：藤田医科大学3号館4階 アクティブラーニング室412（対面）

参加者：24名（ファシリテーター含む。教員・院生・学生・大学職員・企業職員等。）

ファシリテーター：鹿内信善・織田千賀子・石田ゆき

31回目を迎えた今回のふじかんは、全国看図アプローチ研究会会長の鹿内信善先生と、アートスタッフ石田が出向いての対面開催となりました。年度初めの時期であり、また、対面開催ということで残念ながら参加を見送られた方もおられたと思います。

今回は、石田による「きゅうちゃん、どっち？」アイスブレイクに始まり、織田先生がファシリテーターとなって『見方・考え方を育てる授業デザイン』のLTDによるテキスト読解、そして鹿内先生による「江別冬景色」「きゅうちゃん、どっち？」シリーズのワークショップ、という3部構成でした。テキストの読解とワークショップではエルモ社の書画カメラ「みエルモン」と電子ボード「MOMOB0」を活用し、グループ内と全体のシェアリングを充実させました。

アイスブレイクでは、自己紹介を含むワークにプラスして「〇〇なきゅうちゃんはどっち？」をメンバーと考える時間を設けました。変幻自在なきゅうちゃんは、参加者のみなさんの視点も思考も変幻自在にしていました。

LTDによるテキスト読解では、予習が充分でなかった場合でもグループ内で協力してそれぞれのまとめを行っていました。メリーゴーランドによって各グループのまとめを共有し、新たな気づきを得ることができていました。

ワークショップは、暖かい春の名古屋で極寒の江別の風景を読み解く時間になりました。雪国の人でも「え？」と感じる写真と発問を用い、確認写真でさらに「え？」となり、大変にぎやかなワークでした。また、「きゅうちゃん、どっち？」シリーズでは「どっちともとれる」「どっちでも答えられる」思考過程を経て、「問題誘発型」の看図アプローチが展開されました。今回のワークショップは今年度の日本協同教育学会22回大会（大阪）でブラッシュアップ版を実施予定です。オンライン併用のふじかんはこれからも実施されます。対面開催のふじかんもまた企画します。今回足をお運びいただけなかった方はぜひ、またの機会をお待ちください。

文責：石田ゆき



アイスブレイクの様子



LTDによるテキスト読解の様子①



LTDによるテキスト読解の様子②



メリーゴーランドの様子①



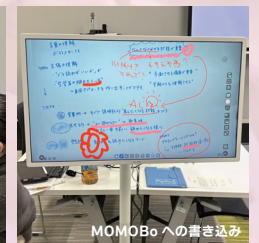
メリーゴーランドの様子②



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②



MOMOB0への書き込み



集合写真